

官報

號外

明治三十一年五月二十二日

日曜日

內閣官報局

第十二回 貴族院議事速記録第二號

明治三十一年五月二十一日(土曜日)午前十時十一分開議

議事日程 第二號 明治三十一年五月二十一日

午前十時開議

第一 公爵島津忠濟君公爵毛利元昭君、侯爵尚泰君、
侯爵四條隆謨君男爵辻健介君丸山作樂君、堀
眞五郎君、赤澤伊太郎君請暇ノ件

第一讀會

第二 銀行條例中改正法律案(政府提出)

第一讀會

第三 銀行合併法廢止法律案(政府提出)

第一讀會

第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會

第五 明治六年第三號布告改正法律案(政府提出)

第一讀會

第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會

第七 日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

第八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會

第九 明治三十一年勅令第二十一號承諾ヲ求ムル
ノ件(政府提出)

會 議

第十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

會 議

第十一 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

會 議

○議長(公爵近衛篤磨君) 昨二十日政府提出、商法施行法案、供託法案ヲ受
領致シマシタ、資格審査委員會ニ於キマシテ委員長ニ村田保君、副委員長ニ
子爵長岡護美君當選ニナリマシタ、國籍法案特別委員會ニ於キマシテ委員長ニ
子爵谷干城君、副委員長ニ子爵岡部長職君當選ニナリマシタ、次ニ御協
議致スコトガアリマス第二部ニ於キマシテ選出ニナリマシタ資格審査委員ノ
三好退藏君ハ辭任ヲ申出デラレマシタ、其辭表ヲ朗讀致シマス

本員儀本日資格審査委員ニ當選候處目下本院ニ呈出相成候當選訴訟事件ニ
ハ自家職業上ヨリシテ關係シタルモノモ之レアリ候間委員辭任仕度此段相
願候也

明治三十一年五月二十日 資格審査委員三好退藏

公爵近衛篤磨君 斯ウ云フ辭表ガ出テ居リマスガ、是ハ許可致シテ宜シイカ如何ト云フコトヲ
御詢リ致シマス、御異議ガナクバ辭任ヲ許可致シマシテ補缺選舉ノ運ヲセネ
バナラヌノデアリマス

(異議ナシト呼フ者アリ)

然ラバ三好君ノ辭任ハ許可致シマス、サウシテ第二部ノ諸君ハ資格審査委員
ノ補缺選舉ヲ行ル、ヤウニ致シタイト思ヒマス、次ニ本日ノ議事日程ニ移
リマス、第一公爵島津忠濟君疾病ニ附キ二十日間、公爵毛利元昭君疾病ニ附

キ二十日間、侯爵尚泰君疾病ニ附キ二十日間、侯爵四條隆謨君疾病ニ附キ二
十日間、男爵辻健介君疾病ニ附キ二週間、丸山作樂君疾病ニ附キ二週間、堀
眞五郎君疾病ニ附キ二十日間、赤澤伊太郎君疾病ニ附キ會期中請暇ノ願ガ出
テ居リマスガ御異議ガナクバ許可致シマス

(異議ナシト呼フ者アリ)

然ラバ許可致シマス、第二銀行條例中改正法律案政府提出第一讀會

(久本書記官朗讀)

銀行條例中改正法律案

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十一年五月十九日

內閣總理大臣侯爵伊藤博文
大藏大臣伯爵井上 馨

明治三十三年法律第七十二號銀行條例中左ノ通改正ス

第二條ノ次ニ左ノ一條ヲ追加シ第三條ヲ第四條ニ第四條ヲ第五條ニ改ム

第三條 銀行事業ヲ營ム會社ニシテ合併セントスルトキハ地方官ヲ經
由シテ大藏大臣ノ認可ヲ受ケル

第九條 第二條ノ規定ニ違反シ大藏大臣ノ認可ヲ受ケスシテ銀行ノ事業ヲ
營ミタルトキ又ハ第三條ノ規定ニ違反シ大藏大臣ノ認可ヲ受ケスシテ合
併ヲ爲シタルトキハ其ノ營業主會社ノ業務ヲ執行スル社員取締役外國會
社ノ代表者ヲ十圓以上五百圓以下ノ過料ニ處ス

第十條 銀行ニ於テ第四條ノ報告若ハ第五條ノ公告ヲ爲サス又ハ其ノ報告
公告中ニ詐偽ノ陳述ヲ爲シ若ハ事實ヲ隱蔽シタルトキハ其ノ營業主會社
ノ業務ヲ執行スル社員取締役外國會社ノ代表者ヲ五百圓以上五百圓以下ノ
過料ニ處ス

第八條ノ檢査ヲ受クルコトヲ拒ミタルトキハ其ノ營業主會社ノ業務ヲ執
行スル社員取締役外國會社ノ代表者ヲ十圓以上五百圓以下ノ過料ニ處ス

附 則

此ノ法律ハ明治三十一年法律第 號商法施行ノ日ヨリ施行ス

(政府委員添田壽一君演壇ニ登ル)

○政府委員(添田壽一君) 現行ノ銀行條例ニ於キマシテハ殊ニ其罰則ニ於キ
マシテ商法ノ引用ガ多クゴザイマスノデアリマス、就キマシテハ此度商法ガ
修正セラレマス結果ト致シマシテ現行銀行條例ニ修正ヲ要シマスル譯デア
リマスカラ本案ヲ提出ニナリマシタデアリマス、何卒商法ト共ニ御協賛ヲ
與ヘラレコトヲ祈リマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 別段御異議ガナクバ次ノ日程ニ移リマス、右議案
ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

然ラバ其通決シマス、第八、日本勸業銀行法中改正法律案、政府提出、第一讀會

（久本書記官朗讀）

日本勸業銀行法中改正法律案

右
勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス
明治三十一年五月十九日

内閣總理大臣侯爵伊藤博文
大藏大臣伯爵井上馨

明治二十九年法律第八十二號日本勸業銀行法中改正法律案、認可ヲ受ケ確實ナル銀行ニ改ム
第三十二條中「日本銀行」ヲ「大藏大臣、認可ヲ受ケ確實ナル銀行」ニ改ム
第三十五條中「五十圓」ヲ「三十圓」ニ改ム

（政府委員添田壽一君演壇ニ登ル）

○政府委員（添田壽一君） 本案改正ノ主眼ハ債券ノ金額ヲ低下致シマスルノニアルノデゴザイマシテ現在ノ如ク五十圓トアリマスルノハ是ハ其現行ノ商法ノ規定ニ主トシテ基キマシタ譯デアリマス、然ルニドウモ五十圓デゴザイマシテハ我國今日ノ民度ニ照シマシテ少シク過大ニ失スルカト存ジラレマ
スル故ニ之ヲ三十圓ニ引下ゲルト云フガ此改正ノ眼目デゴザイマス、而シテ其改正ノ結果ニ依リマシテ所謂細民若クハ勞力者マデモ成ルベク勸業債券ノ募集ニ應ジ得ラレマスルヤウニシタイト云フガ希望デゴザイマシテ、今日民間ニ散布致シテ居リマスル額、遊ンデ居リマスル資本ヲ吸收致シマシテラレ
ヲ生產業事ニ向ケマシテモ或ハ金融ノ整理上カラ申シマシテモ又貯蓄ヲ獎勵スル上カラ申シマシテモ必要ト信ジマスル故ニ何卒此改正ヲ御協賛アラ
ンコトヲ祈リマス

○子爵小笠原壽長君 本員ハ一ツ質問ガゴザイマス、此勸業銀行ノ改正案ハ至極本員ハ贊成デアリマス、アリマスルガ此三十二條中ノ日本銀行ヲ大藏大臣ノ認可ヲ受ケ確實ナル銀行ニ改ムト云フコトガアリマスルガ此確實ナルト云フ文字ニ附イテ少シ伺ヒタイ、其理由ハ成ル程當時銀行ガ續々出來マスルカラ隨分如何ト思ヒマスル銀行モナキニシモアラズデゴザイマス、併シサウ云フ銀行ノ出來マスルノハ大藏省ニ於キマシテハ相當ノ手續ヲ盡サレテ、如何ト思フヤウナ銀行ハ確實ニサセテ營業ヲサセル大藏省ハ義務ガアルノデゴザイマス、サウシテ見マスルニ於テ許シテ置ク譯ハナイ、故ニ確實ト云フ文字ヲ入レテ置キマスルト大藏省ガ不確實ナル銀行ガアルト云フコトヲ認メテ營業ヲ許シテ居ルト云フヤウニナラヌ都合デアラウカト思ヒマス、併ナガラ是ハ是非確實ト云フ文字ヲ入レテ置カナケレバナラヌト云フ必要ガアリマスルモ
ノデアリマスルヤラ、確實ト云フ文字ハドウモ耳障リニナルヤウデアリマス
ルカラシテ一應伺ヒマス

（政府委員添田壽一君演壇ニ登ル）

○政府委員（添田壽一君） 御答ヲ致シマスルガ成ル程確實ト申シマスルコトハ認定ニ屬シマスルコトデゴザイマス、故ニドウモ確實ト云ヒ確實デナイト云フコトハ各人ノ認定デ多少差異ガアルト云フコトハ免レマセヌノデアリマス、故ニ是ハ大藏大臣ノ認定ニ御譲リ下サルノ外ハ別ニ標準ノ極メヤウハ
ナイノデゴザイマス、又不確實ナル銀行ノ成立ヲ大藏省ガ認メテ居ルカト云フ御懸念デゴザイマス、決シテサウ云フ認定ハ致サヌノデゴザイマス、併

シ場合ニ依リマスルト或ル一時ニ於キマシテハ銀行ノ業務ガ確實ヲ缺グト云
フヤウナル場合ニ傾クコトガアリマスルノデゴザイマス、例ヘバ非常ニ損失
ヲ被リマスルトカ非常ナル盜難ニ遇ヒマスルトカ云フガ如キ場合ヲ慮リマシ
テ確實ナル銀行ト云フ制限ヲ設ケタノデゴザイマス
○子爵小笠原壽長君 サウシテ認定ニ任セルト云フコトハ大藏大臣ノ確實
不確實ト云フ所ニ附イテハ認定ニ任セルト云フコトハ大藏大臣ノ確實
ナルト云フ文字ハナクテモ願出マシタ時分ニ大藏省ガ不確實ト見タ以上ハ許
可セヌカラ確實ト云フ文字ハ本員ハ必要ト思ヒマスカラ一言申シマス
○議長（公卿近衛篤磨君） 御發議ガナクバ次ノ日程ニ移リマス、右議案ノ審
查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉ヲ行ヒマス
○子爵京極高典君 此特別委員ハ九名ト致シマシテ選舉ハ議長ニ委託致シマ
ウゴザイマス
○子爵林友幸君 贊成
○議長（公卿近衛篤磨君） 京極子爵ノ動議ニ御異議ガナクバ其通ニ致シマス
（「異議ナシ」ト述フル者アリ）
○議長（公卿近衛篤磨君） 第十、明治三十一年勅令第二十一號承諾ヲ求ムル
ノ件、政府提出、會議

（久本書記官朗讀）

明治三十一年勅令第二十一號
右憲法第八條第二項ニ依リ承諾ヲ求ムル爲
勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス
明治三十一年五月十九日

朕茲ニ緊急ノ必要アリト認メ樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ帝國憲法第八條ニ依リ
刀劍銃砲槍戟仕込刀劍仕込銃竹槍棍棒其他ノ殺傷スルニ足ル物件携帶禁
止ニ關スル件ヲ裁可シ之ヲ公布セシム
御名 御璽
明治三十一年二月八日

内閣總理大臣	侯爵伊藤博文
海軍大臣	伯爵西鄉從道
大藏大臣	伯爵井上馨
文部大臣	伯爵西園寺公正
陸軍大臣	伯爵桂 德二郎
司法大臣	伯爵曾 荒助

農商務大臣男爵伊東巳代治
遞信大臣士男爵末松謙澄

勅令第二十一號

第一條 法律ヲ以テ組織シタル議會ノ議員ノ選舉ニ關シ運動スル者ハ刀劍銃砲槍戟仕込刀劍仕込銃竹槍棍棒其他ノ殺傷スルニ足ル物件ヲ攜帶スルコトヲ禁ス
憲兵又ハ警察官ハ前項ノ禁ヲ犯シタルト認ムル者ニ對シ其ノ物件ヲ押收ス

第二條 前條第一項ノ禁ヲ犯シタル者ハ十一日以上二年以下ノ輕禁錮又ハ五圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ物件ヲ沒收ス

第三條 本令ハ明治三十一年二月二十日ヨリ施行ス

(國務大臣子爵芳川顯正君演壇ニ登ル)

○國務大臣(子爵芳川顯正君) 唯今朗讀セラレマシタル緊急勅令ニ附キマシテ此勅令ノ發セラレタル所以竝ニ將來ニ仍ホ效力ヲアラムナクテハナラヌト云フ所以ヲ御參考ノタメニ陳述致シマス、二十三年議員選舉ノ始リマシテ以來是等ニ附キマシテハ其取締ハ選舉法竝ニ選舉ノ補則等ニ附キ十分ニ制裁ヲ付ケテゴザイマス、事ニ警察ニ從フ者ハ常ニ此法律ノ命ズル所ニ從ヒ致キトシテ取締ニ從事致シマシタガ如何ニシテ政黨ノ競爭劇甚ハ極メマシテ間、或ハ格闘シ甚シキハ家ヲ燒キ人ヲ殺シ人ヲ傷ケ實ニ社會ノ秩序ヲ紊シ安寧ヲ害シ竝ニ選舉ハ安全ニ隨意ニ投票セシムル自由ヲ失ハシマシマス、ミナラズ其他府縣會議員ノ選舉町村會議員ノ選舉等ニ至リマシマスモ競爭ノ甚シキハ或ハ人ヲ強迫シ或ハ暴行ヲ爲シ或ハ甚シキハ人ヲ傷ケルト云フヤウナル事ハ澤山ニアリマス、警察官タルモノハ常ニ致キト云フヤウナル事ハ澤山ニ取締ニ從事致シテ居リマス、拘ラズ右申述べ様ナル慘狀ヲ呈シマシタ、ハ是レ法律ノ不備ナル點ヨリ來タルコトガ澤山ニアルデアラウト思ヒマス、茲ニ其不備ナル法律ヲ補ヒマスルガ爲ニ緊急勅令ヲ發セラレ、海ニ已ムヲ得ザル場合ニ立到リマシタゴザイマス、今諸君ノ御參考ノタメニ二十三年以來衆議院議員ノ選舉並ニ縣會郡會町村會等ニ至リマシマス、右等ノ弊害ノアリタル一ノ事例ヲ御話申シマス、一番甚シウゴザイマス、ノハ明治二十五年二月ノ選舉デゴザイマス、其時ハ死ニマシタ者ガ二十五人、重傷傷ヲ受ケマシタ者ガ三百八十八人、二十七年三月ノ選舉ニハ死者一人、傷者二百五十二人、二十七年九月ニハ死者一人、重傷傷ヲ受ケマシタ者ガ八十五名ト云フヤウナ譯ニ立至リマシタ、又暴行脅迫ヲ致シタ者ハドノ位ノ數デアッタカト調ベテ見マス、二十七年三月ニ暴行脅迫ヲ致シタ者ガ二百七十一人、二十七年九月ニ暴行脅迫ヲ致シタ者ガ百十五人ト云フ譯ニナッテ居リマス、是等ノ暴害ガアツテハ當日選舉人ヲシテ自由ニ選舉ヲ得セシムルニハ獨リ觀察ノ取締ヲ嚴重ニスルノミナラズ法律ノ不備ナルコトヲ補充シナケレバナラヌ必要ヲ感ジマシタ此緊急勅令ヲ發セラレマシタ、ドゴザイマス、思フニ將來ニ於キマシテモ益、競爭劇甚ハ加ヘ右等ノ事ハ多クナラウトモ少クナラウトモ考ヘアラマス、依ッテ此勅令ヲ發布致シマシタ本年ノ選舉ニ於キマシテノ成績ト二十五年七年ノニ比例シテ御話申上ゲマシタ幸ニシテ以前ノ二三四ノ選舉ニ比スレバ當年ハ少イノデゴザイマス、死者一人、傷者ガ三十四人、暴行脅迫ヲ致シタ者ガ七十一人デ、以前ニ比ベマスルト其數ハ少クナ

リマシタ、其皆無ニ至リマセヌハ取締ニ從事スル本官ニ於キマシテ甚ダ殘念ト存ジマスガ唯從來ニ比シマスルト幾クカ減少シマシタ、ハ幸ト存ジマス、トレカラ是マデ申上ゲマシタノハ衆議院議員デゴザイマス、前ニ申置キマス、縣會以下ノ會ニ於ケマシタ勅令發布以後ニ起リマシタ事例ヲ申上ゲマシタ縣會ニ關シマシテ縣令デ申シマス、長崎縣デハ市會ニ於テ一人、青森デハ市會ニ於テ一人、村會デハ二人、栃木ノ村會デハ三人、熊本ノ村會デハ三人、宮城ノ村會デハ一人、ト云フヤウニ僅カ此勅令ガ發布サレマシテ以後數月ヲ經過イタシマセヌニモ拘ラズ縣會以下ノ議員ノ選舉ニ於テ斯ノ如キ有様デアリマス、カ此勅令ハ願ハクハ將來ニ於キマシテ永ク效力ヲ有セシメラレコトヲ切ニ政府ハ希望シマス、諸君此意ヲ御洞察アツテ審議ノ上速ニ協贊アラントコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 御發議ガゴザイマセバ次ノ日程ニ移リマス、右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○伯爵正親町實正君 此特別委員ノ選舉ハ議長ニ御任セ致シタイ

○子爵鍋島直彬君 贊成

○議長(公爵近衛篤磨君) 正親町伯爵ノ議長委託ノ勸諭ニ御異議ガナケレバ本日ノ議事ハ是ニテ終リマス、唯今御委託ヲ受ケマシタ委員ノ氏名ヲ御報道致シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者多シ)

日本勸業銀行法中改正法律案特別委員
子爵由利公正君 子爵京極高典君 子爵板倉勝達君
子爵渡邊洪基君 子爵菊池武臣君 子爵西村亮吉君
子爵小原重哉君 子爵富田鐵之助君 子爵池長四郎君

明治三十一年勅令第二十一號承諾ヲ求ムル件特別委員
公爵德川家達君 伯爵島津忠亮君 子爵竹内惟忠君
子爵島居大亮君 伯爵島田親雄君 子爵小畑美稻君
子爵鈴木大亮君 伯爵諫早家崇君 子爵渡正元君

此諸君ヲ煩シマス、次ニ尙ホ御諮リマスルコトガゴザイマス、先刻報告ヲ致シマシタ政府ヨリ提出ニナッテ商法施行法案竝ニ供託法案ト云フモノハ昨日ソレノ委員ニ付託シマシタ商法修正案ニ關係ノ法案デアリマス、昨日提出ニナリマシタ定規ノ日數ヲ經マシマス、ハ商法修正案ニ關係ノ法案デアリマス、昨日提出ニ上スコトニナリマス、併ナガラ前ニ申シマシタ通ノ法案デアリマス、連シタ案デアリマス、カ明日一日ヲ隔テ、月曜日ノ日程ニ上セテハ如何ト思ヒマス、(「異議ナシ」ト呼フ者多シ)

然ラバ其通ニ計ヒマス、月曜日即チ二十三日ノ議事日程ヲ御報道致シマス

午前十時開議

第一 侯爵醍醐忠順君請願ノ件

第二 商法施行法案(政府提出)

第三 供託法案(政府提出)

第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第六 體育獎勵ニ關スル建議案(子爵岡部長職君外九名提出)

今日ハ散會ニナッテ宜シウゴザイマス